

ニュースレター 第2号
平成3年5月13日

日本精神保健看護学会

-The Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing-

事務局：

〒150 渋谷区広尾4-1-3
日本赤十字看護大学内
(運営委員長：稲岡文昭)
TEL：03-3409-0875
FAX：03-3409-0589

去る3月に続き、ニュースレター第2号をお届けいたします。皆様方の多大なご支援により、すでに200名におよぶ方々が、日本精神保健看護学会の設立主旨にご賛同くださり、会員として登録くださいました。感謝申し上げますとともに、今後とも学会の主旨に賛同してくださる方々への勧誘をお願いいたします。

昨年9月に、日本精神保健看護学会設立発起人会で準備運営委員会の発足が承認されて以来、私たち運営委員一同は設立総会および第1回学術集会の開催に向けて準備してきました。

学術集会のプログラムをご覧になっていただければおわかりのことと思いますが、本学術集会では伝統的な学術集会の形式を踏襲せず、リラックスした雰囲気でもしかもアカデミックな論議ができるように配慮いたしました。精神看護学の早期確立に向けて、“いま、なぜ精神看護学なのか”をテーマにした対談や、各看護専門領域のエキスパートによる「精神看護学への期待」と題するシンポジウムを行います。

また、小グループによる多彩なワークショップや討議も含め、1演題30分の研究発表を設定いたしました。実践での豊富な体験や貴重な研究結果をもとに、よりよい精神看護ケアに向けて十分な話合いや、論議がつくせる場になりたいと思っております。会場は近代的設備が完備されているとは言いがたい処ですが、おひとりでも多くの会員の方々が参加くださるよう、お待ちしております。



運営委員長

(運営委員長 稲岡)

第1回 学術集会 -プログラム-

メイン・テーマ：“いま、なぜ精神看護学なのか”

○とき：平成3年7月6日（土），7日（日）

○ところ：日本赤十字看護大学

○参加費：会員，学生-3,000円，非会員-5,000円

A. ワークショップ

- 1) 精神力動概念をもちいた事例検討 - 粕田孝行
事例をもとにして、患者の心の構造を理解していくことを目的とする。
特に、現在の精神状態が患者の生育史、生活史とどうかかわっているのかを焦点にした、フリーディスカッション・スタイルで進行を試みる。
- 2) 精神保健学の展開方法 - 川野雅資
平成2年度のカリキュラム改正にともない、精神保健が新たな教科目として独立した。
教科のねらいは明確になっているものの、実際の展開は、担当する教員や精神医学の位置づけ、実習病院との関連の影響を受けるであろう。
ここでは、実際に展開しているモデルを元に、展開方法を討議する。
- 3) 精神（科）看護の実習指導 - 川口優子，金城祥教
*第3回精神（科）実習検討会
これまでの検討会で出された問題意識をもとに全国の看護短大，大学の精神科実習の実態調査を行った。
今回は、この結果を材料として参加者と精神（科）看護学実習のあり方や、さらに今後の方向性について考えてゆきたい。
- 4) 看護におけるグループ・アプローチ - 武井麻子
看護の仕事は集団を抜きには考えられない。このワークショップは、集団のなかで一体どのような現象が起こるか、実際に大グループを体験するなかから理解しようという試みである。なお、定員は20名までとする。
- 5) カウンセリングから学ぶ-理解とその伝達 - 横田 碧
・レポーター：大正大学カウンセリング研究所 研究生 遠藤淑美
・コメンテーター：東大保健学科看護学教室 教授 見藤隆子
看護学を学んでからカウンセリングの研究をしている遠藤氏より、動機やその過程で新たに気づいたことなどの報告を受け、参加者同士で話し合ったうえで、見藤先生からのコメントをもらいたい。
- 6) リエゾン精神看護ワークショップ - 南 裕子
一般病棟に入院中の患者で、精神心理的問題をもつために、看護婦が対応困難であると感じる患者の事例を検討し、リエゾン精神看護に必要な知識、技術を明らかにし、その方法論を探る。

B. 発表予定演題テーマ（4月15日現在）

- 1) 実習に関すること
 - a. 役割概念による看護婦-患者関係の理解 自治医科大看護短期大学 富川 孝子
- 精神看護学実習の事例を通して-
 - b. 自閉・緘黙患者への援助 栃木県立衛生福祉大学 増淵八重子
- 会話がもてるまでの一考察-
 - c. 精神科看護実習における学生の学びたい 愛知県立看護短期大学 高橋 千恵
こと、学んだころ、指導者の学んでほしいこと

2) ケアに関すること

- | | | |
|---|-------------------|-------------------------|
| -1 a. 精神分裂病急性期の患者に対する看護ケアの技術と患者の行動との関連について
-参加観察による質的分析- | 聖路加看護大学 | 萱間 真美 |
| b. 精神科閉鎖病棟における初回入院患者の適応過程 | 神戸大学医学部附属病院 | 清明寮 |
| c. 早期リハビリテーションをめざした看護援助の可能性
-「精神科救急」病棟における退院準備の試みから- | 千葉県精神科医療センター | 筒口由美子 |
| -2 a. 軽度精神薄弱を伴ったヒステリー患者の自立 | 北海道大学医学部附属病院 | 井上 弘子 |
| b. 嘔吐を主症状とする不登校症例に対する看護支援 | ソニー健康管理室 | 安田真奈美 |
| c. 看護者に陰性感情をもたらす精神分裂病患者への働きかけについて
-事例を通して- | 長谷川病院
聖路加看護大学 | 高橋美保子他
岡谷 恵子 |
| 3) 看護管理に関すること | | |
| a. 「精神科救急」病棟における効果的な保護室・個室の使用法に関する一考察
-病棟婦長の立場から- | 千葉県精神科医療センター | 伊藤 文 |
| b. 精神科HCUにおけるケアシステム | 北里大学看護学部大学院 | 小林 信 |
| c. 精神病院における看護業務量の実態と必要看護人員の試算 | 長谷川病院
聖路加看護大学他 | 柏田 孝行
岡谷 恵子 |
| d. リエゾン精神看護ニード調査の結果報告 | 聖路加看護大学 | 小代 聖香他 |
| 4) 家族ケアに関すること | | |
| a. 摂食障害の子供をもつ母親へのサポート | 北里東病院 | 赤木 文子 |
| b. 家族への援助に関すること | 東京医科歯科大学 | 羽山由美子 |
| c. 患者・障害者を抱える家族への援助 | 神奈川県立精神保健センター | 菊池 洋子 |
| 5) その他 | | |
| a. 看護学大学生の学生生活に対する意欲の継時的変化とその要因について(その1) | 日本赤十字看護大学 | 田上美千佳
稲岡 文昭
中川 幸子 |
| b. 大学生の精神障害者に対する意識 | 千葉県精神科医療センター | 浅田 澄子 |
| c. 一般病棟に精神専門の看護婦の必要性 | 横須賀北部共済病院 | 池辺 敏子 |

C. シンポジウム <精神看護学への期待>

司 会：池田明子（北里大学看護学部）

シボジスト：精神科看護の立場から

羽山由美子（東京医科歯科大学）

母性、小児看護の立場から

佐藤 静子（松戸市立病院）

老人看護の立場から

野口美和子（千葉大学看護学部）

成人看護(クリティカルケア)の立場から

宇田真紀子（東京共済病院）

今回のメインテーマ「いま、なぜ精神看護学なのか」にそって、稲岡・南両氏の対談で問題提起されたことを受けて、看護実践の各領域から、精神面の看護の必要性、精神看護コンサルテーション、リエゾンナースへの期待などを含めて「精神看護学への期待」を話して頂き、本学会の課題および今後の方向性を明らかにする。

D. 懇親会：7月6日（土）18:00-20:00 於・日本赤十字看護大学、会費5,000円

*******学術集会の御案内*******

* 会員の方で学術集会に参加を希望される方は、同封の葉書にワークショップの希望、懇親会の参加についてご記入の上、6月10日事務局必着でお送り下さい。参加費は同封の振込用紙で6月中に払い込み下さい。それ以降に払込まれた方は、学会当日に、払込票をお持ち下さい。

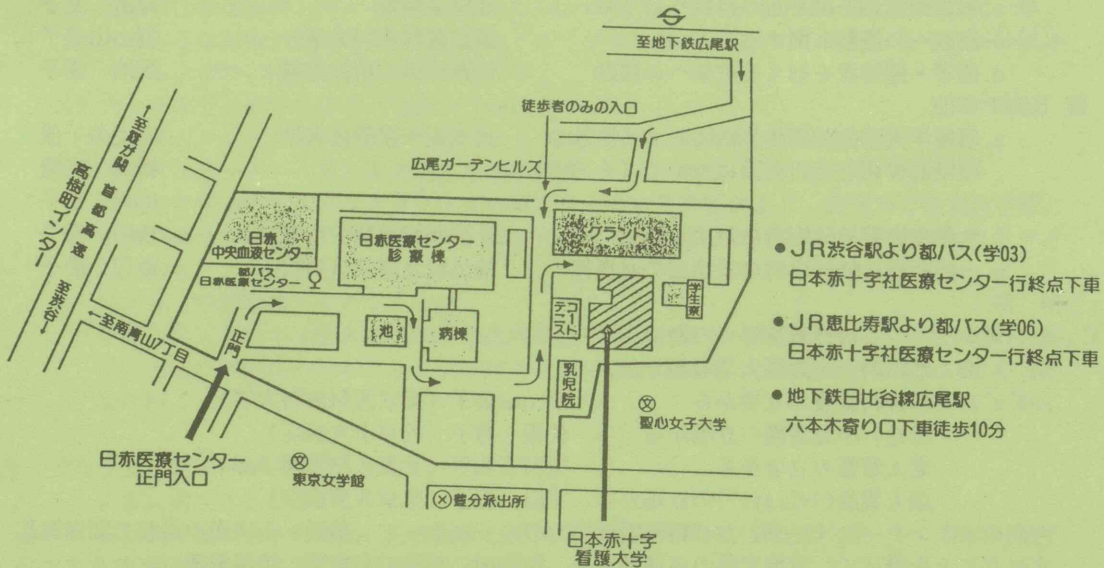
* 非会員で学術集会に参加を希望される方は、往復葉書に希望するワークショップの番号と懇親会出席の有無を明記して、事務局までお送り下さい。折り返し詳細についてご連絡いたします。

* また、7月6日(土)に行われる日本精神保健看護学会第1回総会において本学会は正式に設立されます。総会が成立できますように、会員の皆様の出席をお願いします。万一、欠席される方は委任状もご記入下さい。

すでにご承知のことは存じますが、本学会は6月30日をもって平成2年度の活動を終え、7月1日より平成3年度の活動を開始いたします。平成3年度分会費納入は、追って払い込み用紙を郵送いたしますが、学術集会会場受付において、7月7日(日)に平成3年度臨時会費納入を受付いたします。

尚、7月1日以降に入会なさる方は入会審査がございますのでご了承下さい。
(6月30日までに入会の方は、審査はございません。)

日本赤十字看護大学案内図



広尾駅周辺、並びに日赤医療センター正門前に多少、食事のできる店がございます。日曜日は学生食堂がしまっておりますのでご了承下さい。